

市民病院の再整備について

市民病院の再整備については、26 年度に基本計画を策定し、基本設計に着手しました。

現在、今年度末の完了に向けて基本設計を進めています。今回は、基本設計段階における病院の全体構成や部門配置などの検討状況についてご報告します。

1 新しい市民病院の概要

事業概要

- (1) 病床数：650 床（うち感染症病床 26 床）
- (2) 計画外来患者数：1,200 人/日程度（現状 1,200 人/日）
- (3) 診療科数等：現行 33 科の診療領域を維持しつつ、機能に応じた再編を検討
- (4) 延床面積：60,000 m²以上（病床 1 床あたり 90 m²以上、現状 66.5 m²）

医療機能に係る基本方針

高度急性期を中心とした将来にわたる先進的な医療サービスの提供と市立病院としての役割の発揮

政策的医療の拠点

救急医療、小児・周産期医療、がん対策などの充実

市民の健康危機管理の拠点

特に、大規模な災害発生時には、三ツ沢公園に隣接している利点を活かし、災害対策機能を強化

地域医療全体の質向上のための拠点

地域医療機関の連携により、より良い医療サービスの提供や地域医療人材の育成

2 基本設計段階における主な施設整備の検討状況（全体構成や配置等は別紙参照）

《医療機能の充実》

- 外来及びがん検診センターを正面入口のある 2 階に集約するとともに、検査部門と外来部門と隣接させることで、利便性の向上を図ります。外来については、機能性を向上させるためブロック受付方式を導入します。
- がん対策の充実に向けてリニアック等の放射線治療機器を整備するほか、外来と同フロアの 2 階に外来化学療法室（15 床→30 床）、眺望の良い 8 階に緩和ケア病棟（20 床→25 床）を設置します。
- 3 階に手術室を配置（9 室→15 室）し、ハイブリッド手術やロボット手術を実施します。
- 同じく 3 階に救急病棟（24 床→28 床）や ICU・CCU（10 床→14 床）等を集中配置し、1 階の救命救急センターから専用エレベーターで連絡することで、迅速な対応を可能とします。救急外来は、十分な広さの初療室を確保し、CT等の検査機器を配置します。
- 救命救急センターに隣接して、市内で初めて救急ワークステーションを設置し、救急隊の人材育成や救命救急センターとの連携強化を進めます。
- 産科・周産期医療の充実に向けて、5 階に周産期センターを配置し、陣痛から分娩まで同じ部屋で対応できるようにするとともに、NICU（新生児集中治療室・6 床→9 床）及び GCU（新生児治療回復室・6 床→12 床）を拡充します。
- 一般病床の多床室については、6 床室から 4 床室とし、療養環境を向上させます。

《災害対策機能・感染症医療の充実強化に向けて》

- 緊急ヘリポート（三ツ沢公園補助競技場）から救命救急センターまでの専用動線を確保するとともに、公園スペースを活用した災害医療を実現します。
- 外来ホールや病院周辺をトリアージスペースとして活用できるようにします。
- 重症患者の広域搬送を行う市内臨時拠点や他都市からの DMAT（災害派遣医療チーム）の活動拠点機能を整備します。
- 県内唯一の第一種感染症指定医療機関として、8 階に陰圧個室など全室個室の病棟を整備するとともに、1 階の感染症外来からの専用エレベーターを設置します。

《建物構造等について》

- 診療棟と管理棟の 2 棟を配置するとともに、エネルギー棟を別棟で整備します。診療棟は免震構造とします。
- 診療棟地下の免震層及び管理棟の 1、2 階を駐車場とし、十分な台数の駐車場（約 200 台→400 台以上（いずれも業務用含む））を整備します。診療棟地下駐車場から 2 階外来まではエレベーターにより連絡させます。
- ニッパツ三ツ沢球技場からの音対策として、病棟を南側に配置したうえで、必要に応じて二重サッシ等の対応を行います。
- 4 階から 8 階の病室は、将来にわたって市民病院に求められる役割に適切に対応できるよう、個室から多床室へ、また、多床室から個室への変更などを可能にします。
- 患者、職員、その他の病院利用者によって立ち入れる場所を制限するなど、万全のセキュリティ対策を講じます。

《働きやすい職場環境の実現に向けて》

- 休憩室や更衣室を十分確保するとともに、管理棟 1 階に院内保育所を配置し定員を増員（30 人→45 人程度）します。
- 会議室、研修室を確保するとともに、横浜国立大学等との連携強化に向けて研究医等の研究スペースを確保します。
- 魅力あるレストランやカフェ、コンビニエンスストアを整備します。

《周辺環境の整備に向けて》

- 病院正面にバス・タクシーのロータリーを整備し、三ツ沢公園の利用者を含めて利便性の向上を図るとともに、レストラン・カフェ等については、公園利用者にも使いやすいものにします。
- 病院周辺の交通混雑を抑制できるよう関係局と調整し、道路・歩道の改修を進めます。

（新病院を上空から俯瞰したイメージ）



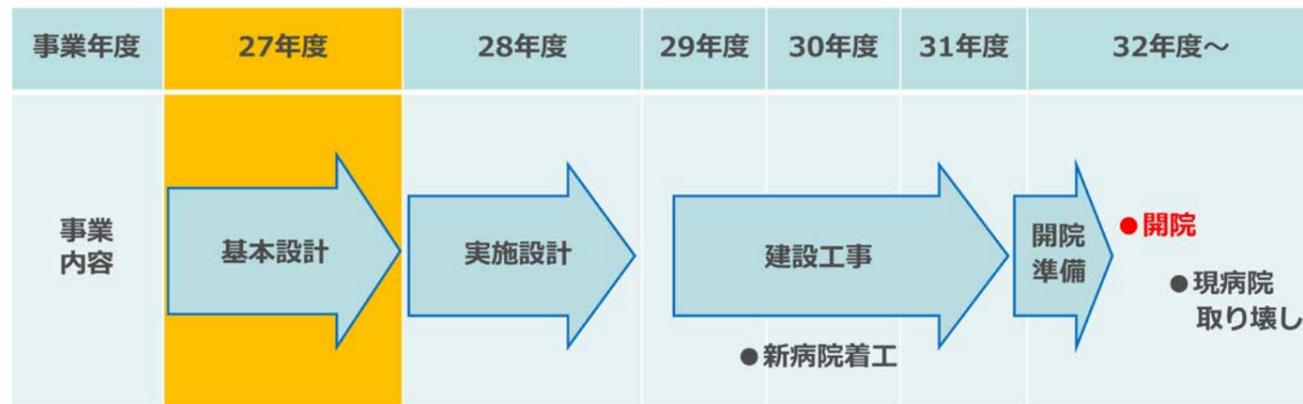
（病室イメージ（4床室））



（外来待合イメージ）



3 今後のスケジュール



4 周辺住民への説明状況

(1) 事業説明会実施について

10月16日(金)、17日(土)に、事業説明会を開催し、計187名の方が参加されました。新病院の概要、配置、建物構成、今後のスケジュールなどについて説明を行いました。

(2) 主な要望と対応策について

《工事に関する要望》

(要望) 住民への説明回数や説明時間を確保してほしい。

(対応) 近隣地域の実情に応じて、個別にご説明するとともに、今後も、設計や施工の各段階において、十分な説明を行っていきます。

(要望) 建設工事に関わる車両の出入口の安全性を確保してほしい。

(対応) 建設工事にあたっては、十分に安全性に配慮するよう、事業者とも調整します。

(要望) 工事日程など詳細なスケジュールを事前に示してほしい。

(対応) 設計終了後、工事日程が明らかになった時点で、近隣の住民の皆様事前にお知らせします。

《新病院に関する要望》

(要望) 新病院の周辺道路が生活道路であることから、渋滞を発生させないよう配慮してほしい。

(対応) 病院利用者による渋滞等の発生することのないよう、敷地内に十分な台数の駐車場を整備することやスムーズな出入りできる道路形状等について、県警とも協議を進めるなど、引き続き検討します。

(要望) 救急車が通行することによる音対策について配慮してほしい。

(対応) 救急車の進入路を三ツ沢交差点から近い場所に配置し、できるだけ住宅地を走行しないなどの配慮を検討します。

(要望) 既存の循環バスの運行について、移転後も現病院跡地方面に向かう路線を残してほしい。

(対応) 既存のバス路線を維持することや、さらなる交通アクセスの向上に向けた対応について、交通事業者とも協議を進めていきます。

(要望) 新病院がニッパツ三ツ沢球技場近くになるが、応援の音などへの対応を検討してほしい。

(対応) 患者の居室となる病室は南向きに配置することにより、球技場からの音への対策は一定程度可能と考えていますが、さらに必要に応じて二重サッシ等の対策を講じていきます。

(3) その他の住民説明の実施状況

【神奈川区】 三ツ沢西町自治会(11/12)

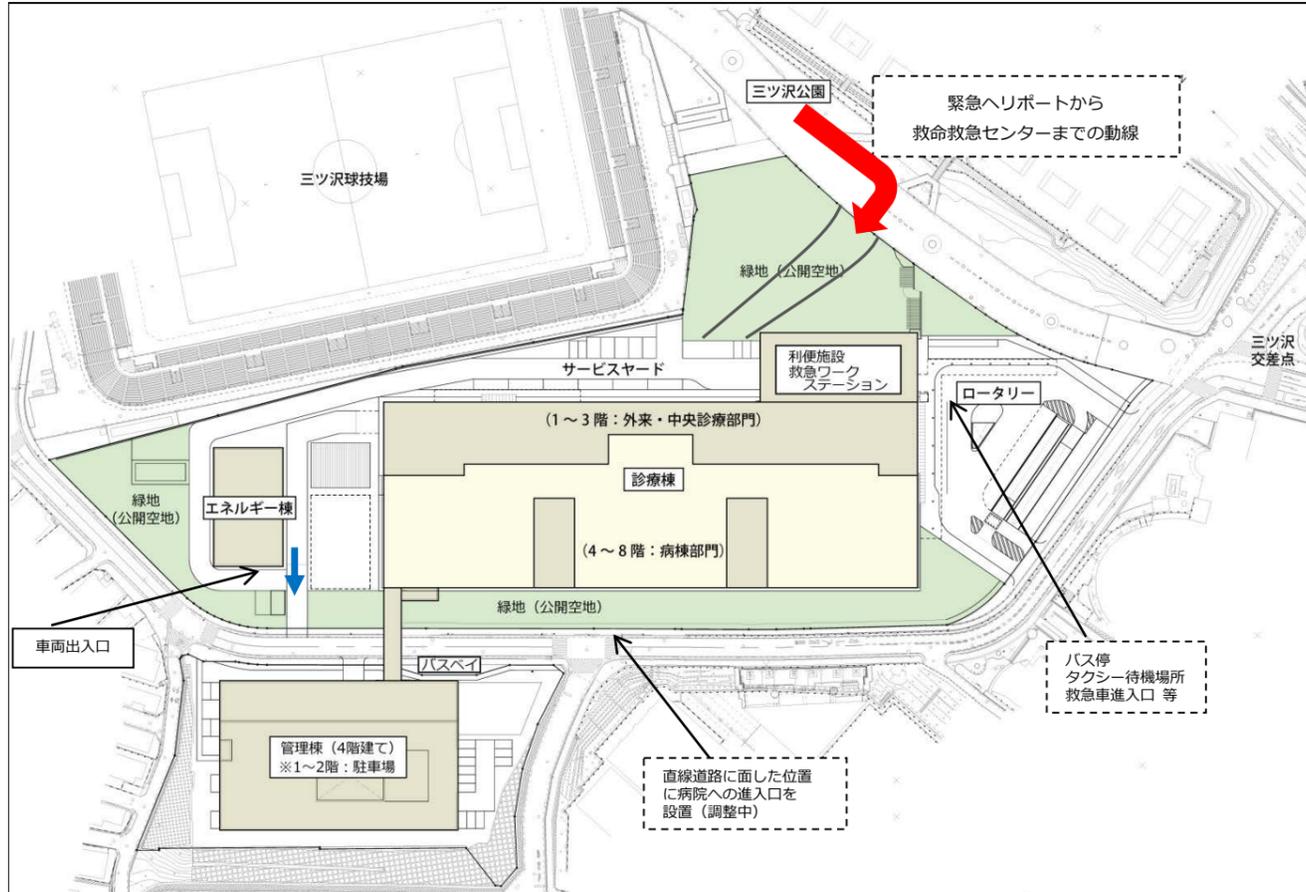
【西区】 三ツ沢ハイタウン自治会(10/1)、軽井沢自治会(11/24)

【保土ヶ谷区】 常盤台地区連合町内会(10/20)、鎌谷町自治会(10/31)、中央東部地区連合町内会(11/20)

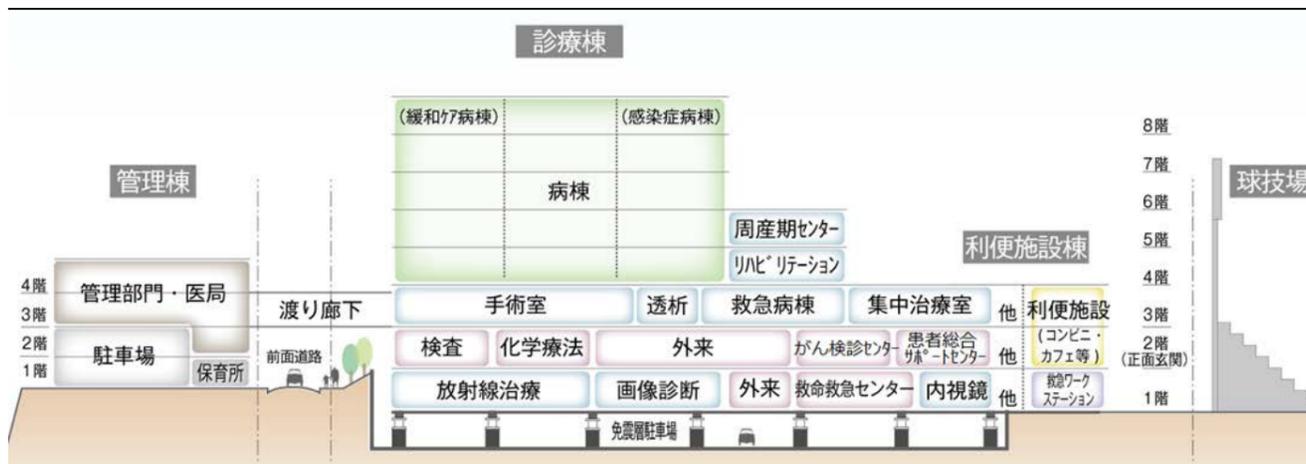
⇒今後とも、周辺道路の交通対策など十分にご理解いただけるよう、近隣地域を中心に対応していきます。

【病院の全体配置と建物構成】

(1) 新しい病院の配置 (イメージ)



(2) 新しい病院の建物構成 (イメージ)



【新病院の施設概要について】

(診療棟)

8階	感染症病棟、緩和ケア病棟、一般病棟
7階	一般病棟、無菌病棟
6階	一般病棟、小児病棟
5階	一般病棟、周産期センター (産科病棟、分娩、NICU・GCU他)
4階	一般病棟、リハビリ等
3階	手術室、ICU・CCU、救急病棟、血管造影、CE、血液透析、病理、細菌検査、中央材料等
2階	一般外来、がん検診、生理検査、採血・採尿、輸血・検体検査、化学療法等
1階	放射線治療、核医学検査、画像診断、内視鏡、感染症外来、小児外来、ER、救命救急センター、剖検、薬剤、栄養等
地下1階	駐車場

(管理棟)

4階	看護実習室、講堂、会議室等
3階	医局、図書室、事務室、更衣室等
2階	院内学級、更衣室、駐車場
1階	院内保育所、駐車場

(利便施設棟)

3階	職員食堂、休憩スペース、会議室など
2階	コンビニ、カフェ、レストランなど
1階	救急ワークステーション

※なお、この他にエネルギー棟にて構成されます。